

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第7区分
 【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公開番号】特開2009-269701(P2009-269701A)
 【公開日】平成21年11月19日(2009.11.19)
 【年通号数】公開・登録公報2009-046
 【出願番号】特願2008-121051(P2008-121051)
 【国際特許分類】

B 6 5 G 13/11 (2006.01)

B 6 5 G 13/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 G 13/11

B 6 5 G 13/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月24日(2011.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フレームに軸受された複数のローラの下方に前記フレームに沿って延びる駆動軸を配置し、前記駆動軸から前記複数のローラにそれぞれ伝達部材を介して回転力が伝達されるコンベヤに取付けられる駆動軸カバー装置であって、

前記駆動軸の軸方向に延びる両側部の内側に前記駆動軸を進入させ、外面を下向きに突出した溝形カバー部材と、

前記溝形カバー部材の両側部のうち一方の側部をその内側から掛止する掛止部材と、

前記コンベヤのフレームに固定され、前記掛止部材に前記溝形カバー部材の一方の側部を挟んで対向する挟着部材と、

前記掛止部材が前記溝形カバー部材を掛止する位置の下方で、前記溝形カバー部材の外面を支持する支持部材と、

前記掛止部材を前記挟着部材に着脱自在に締付ける締結手段とを備えることを特徴とする駆動軸カバー装置。

【請求項2】

前記溝形カバー部材が網目状の孔を有し、前記掛止部材が前記孔に掛る爪を突出した請求項1に記載の駆動軸カバー装置。

【請求項3】

前記溝形カバー部材が合成樹脂の成形物である請求項1又は2に記載の駆動軸カバー装置。

【請求項4】

前記支持部材が前記溝形カバー部材の真下まで延出した請求項1乃至3の何れかに記載の駆動軸カバー装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

更に、本発明に係る駆動軸カバー装置は、前記溝形カバー部材が網目状の孔を有し、前記掛止部材が前記孔に掛る爪を突出したものである。前記溝形カバー部材が合成樹脂の成形物であっても良い。前記支持部材が前記溝形カバー部材の真下まで延出しても良い。